

朝の海

一九一五

ここで休もう。しばらく自然を眺めさせてくれ。

朝の海のきらめく青。雲のない空の光る青。

黄土色の岸。みなすばらしい。

みな光にゆあみしてる。

ここに立たせておいてくれ。こういうもの皆を見るふりをさせといてくれ。

(立ち止まった初めに一分間ほんとうに見たよ)

ここでもいつもと同じ白昼夢を見ているのだが、

おのれの思い出を、あれらの肉感的イメージを――。

